

県政報告会で多くのご意見・ご要望のお声を聞かせて頂きました。

橿原市・高市郡にて
10/30～12/12(24ヶ所)



ご参加ありがとうございました



《県政報告会でのご意見・ご要望》

- ・ 下水道の整備拡充促進
 - ・ 県立医科大学及び附属病院の整備促進
 - ・ 耳成高校の農産物直売所及び旧校舎の庁舎としての整備促進
 - ・ 京奈和自動車道の早期完成
 - ・ 橿原・高市区域の道路・河川事業の推進
 - ・ 都市計画区域見直しについての要望
 - ・ 佐藤薬品スタジアム(旧名県立橿原球場)の整備促進
 - ・ 橿原神宮参道の歩道再整備早期完成
 - ・ 曲川区域のごみ焼却炉についての要望
 - ・ 県営住宅の整備促進
 - ・ 各地区の信号・歩道の整備要望
 - ・ 高齢化対策についての要望
 - ・ 農林業振興対策への意見
 - ・ 関西広域連合への奈良県不参加についての意見
- その他いろいろなご意見・ご要望を頂きました。
今後も県議会活動で取り組んでまいります。



謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。
旧年中はあたたかいご支援を賜り、また、県政報告会にはたくさんの皆様に、ご参加頂き、有難うございました。
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



後援会会長
花井 萃



環境廃棄物対策特別委員会調査



厚生委員会調査



第300回奈良県議会 平成22年11月定例会 平成22年11月30日 東大寺大仏殿廻廊



たちばな会親睦バス旅行

私の履歴書

平成12年4月第10号～平成14年11月第20号に掲載させて頂きました。



ほろほると 鳴く山鳥の 声聞かば 父かとぞおもふ 母かとぞおもふ (行基菩薩)

父は昭和54年、母が平成8年に亡くなり、年月が過ぎる中、まさしくいろいろな場面で父母を想い出します。

物心がついた頃父は、市場で牛を買ってきて小さな家の一角で飼ひ、農家の方々に牛を売買したりする、いわゆる当時の職業で“馬喰”と呼ばれる仕事に就いていました。私はそんな父に連れてられて良く市場へ行きまして。たくさんの牛の姿や、牛を売買する人たちの様子を眺めながら、市場の中の食堂で、うどんや天ぷらを買ってもらって食べるのが楽しみでした。また、牛を車に積んで家の近くで降りし、牛小屋に入れる為にロープで牛を引っ張り、毎日学校から帰って夕方、押切りという道具で糞を切って餌を混ぜ、牛に食べさせていたのが、10歳ぐらいまでの生活で記憶に残っています。

その後父は、私が小学校5年生の頃から、ダンパーで土や砂利を運ぶ建材業を営み、高校2年生の時に、土木建設業を設立しました。そうした中、父は昭和40年から、亡くなる54年まで、14年の間、明日香村の議会議員に、席を置かせて頂きました。

父が亡くなったのは、私が大学を出て、父の仕事を手伝って2年目の時でした。仕事を継ぐ

経験や成人してから今日までの人生については、後日の機会に述べさせて頂くとして、今回は成人までを振り返ってみたい。

小さい頃から私は、父と母をたて2で割ったような性格であると良く言われました。父が亡くなってから、父は大変気性の激しいところがあるが後に残さないすっぱりとした性格だったと、ざっくりばらんに言えば、口は悪いが腹の中のきれいな竹を割ったような性格の人間だったと、父を良く

知るたくさんの人から聞きました。なぜ亡くなったからかと言いますと、父は家では殆ど外であった事は言わなかったからです。家では、私が小さい頃から、人から聞くような気性の激しいところは無く、私と姉にはやさしい 父だったように思います。

母のことにふれさせて頂くならば、電信柱にでも頭を下げるぐらい、腰の低い愛想のいい、父を陰から支える母だったと思います。結婚当時父

は“かじや”を業としていましたが、生活は苦しかったようです。それから、姉、私が生まれ、仕事も何度か変わる中で、選挙に出たりして、私の高校生ぐらいまでの記憶では、家計はかなり大変だったと思います。そんな中母は、本当にこのつとめ内職に励みながら、父を支え、私を育ててくれました。

私は二人の性格を少しずつ頂き、今の自分があるのだと思います。

お釈迦さんの教えに、父母の恩を忘れてはならないとありますが、冒頭に書かせて頂いたように、最近特に、いろいろな場面で父母に支えられているんだと、あらためて感謝の気持ちでいっぱいです。

私の履歴書が、父母の履歴書になった感がありますが、父母に代わって自分のことは語れないと思ひ、このような書き出しになりました。紙面の関係で今回はこれぐらいにさせて頂き、次回には私の人生ストーリーを述べてさせて頂きます。

出合いこそ人生

昭和47年夏、全国高校野球選手権奈良大会一回戦、2対1の1点差で迎えた八回裏1アウトランナー三塁、一打同点のチャンス、バッター四番山本、結果は・スクイズ失敗、ピッチャーフライダブルプレーでチェンジ、そのまま敗退、これが、私の高校野球最後の試合であり、また、学生時代で最も印象に残っている出来事です。

私は小さい時から野球が大好きでした。私が小学校の頃は現在のような少年野球チームは村にはなかったので、仲間と草野球を楽しむ毎日でした。

中学では入学式当日から野球部に入り、その日から練習に参加しました。中学時代は、セカンド・ショートとして三年間過ごしました。高校は、昨年44年ぶりに甲子園出場を果たした高田高校に進学し、野球部に入学しました。ここで、昨年の選挙でたいへんお世話になった深谷和道君と一緒に三年間野球をしたのであります。

“スクイズ失敗” 万事休す!!

私達の時代は、先輩が甲子園に出てから15年がたった頃で、あまり強くなかったのですが、前年度県大会ベスト8まで残ったので、この年も同じところまでは、誰もが同じ思いで一回戦に臨んだのですが、私のスクイズ失敗で、皆の夢はあえなく華と散ったのです。その時は、自分自身の情けなさやチームのみんなに対する申し訳

ない気持ちで、九回表の守備ではキャッチャーをしているマスクの中で涙があふれたとまらなかつたのを今でもはっきりと覚えています。

そのことがあってから、大学時代も社会に出てからも、大事な場面では失敗を恐れるようになり、なかなかこの失敗コンプレックスから抜け出せませんでした。そんな中で父親が死に、結婚して

村会議員になり、福祉の仕事に携わりながら、昨年、母校の44年ぶりの甲子園出場と同じように、“県会”という私にとっての甲子園に送って頂きました。

今から思えばあの時、スクイズ失敗したことが今日の自分に大きな影響を及ぼし、悔しい思いをバネに頑張ってきたのだと思います。

今でも失敗コンプレックスは多少残っておりますが、いろいろな体験を通して、コンプレックスを解消させて頂きました。

そのことは次回書かせて頂くとして、野球をしていたことが、私にとっては本当に良かったと確信しております。多くの友人、知人、先輩、後輩という素晴らしい財産を頂きました。これからもこの財産を大切にしながら、県会という甲子園で頑張っていきますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(一部抜粋)

○ 公職選挙法により、年賀状は控えさせて頂きます。

山本のぶあき後援会事務所

ホームページ <http://www.nobuaki-yamamoto.com/>
メールアドレス nobuaki1954@yahoo.co.jp

橿原事務所

〒634-0834 橿原市雲梯町862-1
TEL.0744-24-0148 FAX.0744-24-0149

高市事務所

〒634-0103 明日香村飛鳥505-1
TEL.0744-54-3750 FAX.0744-54-3749